

令和5年度 一般入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号 46

千葉県立鎌ヶ谷西高等学校 全日制の課程 普通科

1 期待する生徒像

次のすべてを満たす生徒

- ア 学力の向上をめざし、目標に向かって、意欲的かつ継続的に学習に取り組むことができる。
- イ マナーやルールを守り、周囲と協調し、協力しあって学校生活を送ることができる。
- ウ 部活動や生徒会役員など、特別活動やボランティア活動に積極的に参加し、充実した高校生活を送ることができる。
- エ 卒業後に自立し、社会人としての自覚を持ち、社会に貢献する意志がある。

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 学校設定検査	学校が定めた次の検査の結果
面接	受検者1名・評価者2名の個人面接 検査時間：1人5分

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査 [500点満点]

評価項目	評価基準
ア 5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。
イ 個々の教科の得点	0点の教科がある場合は、審議の対象とする。

(2) 調査書 [320点満点]

アの数値に、ウ、エ、オについて加点（上限50点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値に $K=2$ を乗じた数値で評価する。
イ 行動の記録	○が1つ以下の場合、審議の対象とする。
ウ 特別活動の記録	学級活動、生徒会活動、学校行事において、特に積極的に取り組んだと認められる記述については加点する。
エ 部活動の記録	特に積極的に取り組んだと認められる活動、成績については加点する。

オ 特記事項	継続的なボランティア活動等の顕著な活動、英語・漢字・数学の各検定（3級以上）については加点する。
カ 総合所見	総合的に判定する際の参考とする。 記載内容に問題があると判断する場合は、審議の対象とする。

(3) 学校設定検査（面接）〔100点満点〕

2名の評価者が、次の4つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（標準に達していない）・d（問題がある）の4段階で評価する。2名の評価者による、評価項目ごとの評価の組合せ（a a～d d）で得点化する。各評価項目の組合せでdが1つでもある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志望の動機	志望の動機が明確である。
イ 学校生活への意欲	高校生活（学習・部活動等）を意欲的に取り組もうとしている。
ウ 質問に対する応答	質問内容を的確に理解し、分かりやすく適切に回答することができる。 中学校時代に頑張ったこと等について、明確に回答することができる。 将来の進路希望等について、具体的に回答することができる。
エ 面接に臨む態度	服装、頭髪等の身だしなみが整えられており、基本的な面接の作法が身に付いている。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

「学力検査の得点」、「調査書の得点」及び「学校設定検査（面接）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、募集人員までを入学許可候補者とする。

< 総得点の満点の内訳 >

学力検査 の得点	調査書の得点		学校設定検査の得点	総得点
	評定（K=2）	加点	面接	
500点	270点	50点	100点	920点

(2) その他

ア 自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはしない。

イ 入学許可候補者とした者のうち、隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定による入学許可候補者数が、細部協定書の示す制限比率を超えていないことを確認する。

5 その他

過年度卒業者については、学校設定検査終了後、別途個人面談を行う。